

手動車椅子、足乗せ板に注意を 皮膚損傷など事故（消費者庁）

消費者庁の消費者安全調査委員会は14日、手動車椅子のフットサポートのプレート（足を乗せる板）の裏側に要介護者の足が接触して皮膚損傷する事故が起きているとして、メーカーや病院、介護施設などに事故防止の取り組みを進めるよう注意喚起した。

委員会は「要介護者の足がプレートの裏側に接触する事象が1か月に24件発生し、そのうち2件で皮膚損傷が発生した」という病院関係者からの申し出を受け、車いすの移乗時に発生している事故の情

報を収集・分析。その結果を踏まえ、消費者庁、厚生労働省、経済産業省に対し、事故の再発防止策をまとめたレポートを示し、メーカーや利用者などに広く周知するよう要請した。

レポートは「プレートへの接触事故は日常的に発生しているが、骨折などの重大事故に至ることが少なく、軽視されがちで、利用者の危険性の認識も低い」と指摘している。

（福祉新聞・第2804号 2017年3月27日）